

学校選択制の見直し／通学路の安全対策

教育 防災 医療 充実を求め一般質問

6日、日本共産党市議団は、佐々木とも子議員と池川友一議員が一般質問に立ちました。その要旨を紹介します。

● 自立支援医療診断書手数料の値下げを



佐々木とも子市議は、町田市市民病院の文書作成手数料の値上げについて、問題点を質しました。

精神障がい者診断書や自立支援診断書手数料は、昨年の条例改正時から突如「特に複雑な手間を要するもの」に加えられたことで、2000円から5250円へと2・63倍の値上げとなり、自立支援医療の更新のために診断書を申請した市民の方から、苦情が寄せられたほどです。市民病院



報告を受け、現在、選択制度の成果と課題を検証し改善する方



医事調整部長は、「すでに議会承認されており、手数料を見直すつもりはない」と答え、値上げの根拠を示すことができませんでした。

● 学校選択制再検討を

災害時の学区外通学児童の安全確保や地域とのつながりが希薄になる学校選択制度の見直しを求める質問には、教育長が『町田市立小・中学校選択制度検討委員会』からの報告を受けて、現在、選択制度の成果と課題を検証し改善する方

● リニア中央新幹線は再検討が必要



池川友一市議は、リニア

部長は、「周辺市と協議会を立ち上げ、リニア中央新幹線がどのような形で影響・効果を与えるのかについて調査・研究していく」と答弁しました。

● 防災対策の強化 通学路の安全対策を

防災対策の強化を求めた質問では、新しい地域防災計画を今年12月までに策定すること、児童・生徒が学校にいる時間に発災した場合には避難所の備蓄品は使うことができること、避難所関係者連絡会として訓練をおこなうと答弁。家具転倒防止器具について「必要性はあるが事業継続はしない」としました。

● 認可外保育施設 保護者補助金拡充を

子育て環境の充実を求めた質問では、認可外保育施設に通う保護者補助金はこれまで半年ごとの支給となっていたものを、保護者のみなさんから「もっと短くして欲しい」という声を受け3カ月ごとの支給に改善することになりました。また、所得に応じた補助金のあり方を求めました。



● 餓死・貧困死に関し都及び国に意見書提出を求める請願

7日の本会議で、町田生活と健康を守る会が提出した「餓死・貧困死に関し都及び国に意見書提出を求める請願」が全会一致で採択されました。請願は「社会保障を充実し、餓死、孤独・貧困死を出さないまちづくり、国づくりの施策を具体化し実施すること」などを求めています。

